

マークシートに回答してください。

問題用紙も回収いたします。
問題は、試験終了後、3階事務室横に掲示します。
また、衛生学教室HPにて開示します。

URL : <http://www.kawasaki-m.ac.jp/hygiene/>
トップページから「教育と研究」に入り、
「教育関連の参考資料」(学内学生さん向け付録つき)に行ってください。
そして、「試験問題関連」という処の
「2004年度 医用中毒ブロック 講義末試験(大槻担当分)」をクリックしてください。

.....

すべての問題は、解答を「1つ 選べ」である。

1. 感染型の食中毒原因として、正しいものを 1つ 選べ。

- a フグ毒 b セレウス菌 c サルモネラ d ボツリヌス e ホタテ貝

2. 食前加熱が無効な食中毒原因を 1つ 選べ。

- a カンピロバクター b 腸炎ビブリオ c サルモネラ d 黄色ブドウ球菌 e 病原性大腸菌

3. ノロウイルス(小型球形ウイルス)食中毒について正しいものを 1つ 選べ。

- a 夏季に多発 b 牡蠣で多発 c 診断は血清抗体価 d 潜伏期は約1週間 e 神経毒

4. 平成 15 年食中毒発生状況について正しいものを 1つ 選べ。

- a 患者数ではサルモネラ属菌が第1位である。
b 事件数では小型球形ウイルスが第1位である。
c 病院の給食施設での腸管出血性大腸菌感染で、一事例9人の死者を認めた。
d 8月に例外的に患者数が多かったのは乳製品メーカーのブドウ球菌感染による。
e 事件数・患者数ともに飲食店が施設としては最多であった。

5. 細菌性食中毒についての以下の記載のうち正しいものを 1つ 選べ。

- a 黄色ブドウ球菌は主に腸管内で毒素を産生する。
b 米国では腸炎ビブリオによるものが多い。
c 辛子れんこん事件はカンピロバクター食中毒の代表的事例である。
d 芽胞を形成すると耐熱性を示す。
e O-157 感染症の重篤合併症に呼吸筋麻痺がある。